

<2026 年 3 月期 第 1 四半期 決算説明会 主な質疑応答>

日時 : 2025 年 7 月 31 日 (木) 18:00~19:00

出席者 : 會田 CFO 補佐、小畑 CSO 補佐

Q. 第 1 四半期決算を見る限り好調なスタートに見えるが、当初見込んでいた関税コストを含め、第 2 四半期以降、懸念となる要素はあるのか。

A. 堅調な自動車生産・販売に加えて、計画レートに対する円安進行の追い風もあり、良い決算となった。関税コストについては顧客への転嫁が進んでおり、影響は通期でマイナス 10 億円程度に収まる見込み。一方で、第 2 四半期以降、7 月にクロージングを迎えた Radius 社の取得に関連する一過性のコストが発生する見込み。該社の業績については、足元では市況の影響を受けるビジネスモデルであり、動向を注視している。

Q. 総還元性向 40%の達成時期について確認したい。28 年 3 月期での達成が目標であった理解だが、キャッシュフローの状況を鑑み、前倒して当期の達成も考えているのか。

A. 4 月に公表した株主還元方針から変更しておらず、28 年 3 月期までに総還元性向 40%以上の達成を目指す。まだ第 1 四半期であり、現時点では前倒しの達成は考えていない。

Q. サプライチェーン本部が好調。日本でのビジネスに対する円高影響を除けばさらに強い数字が出ていると見られるが、特殊要因や持続性の有無は。

A. 税後利益は税効果や配当もあり上振れだった。豪亜・欧州地域において部品の動きも悪くはないが、強い数字が出たとは見ていない。日本を除いて悪いところがなかったという捉え方で、通期でどこまで伸びるかは見通し難い。

Q. モビリティ本部およびアフリカ本部について、自動車の生産が戻り、配車がされれば好調が持続するのか、あるいは更に上振れる可能性もあるのか。

A. コーカサスの市場は好調ながら、他社 OEM との競争激化等で下振れ気味。一方、スリランカの外貨準備高不足緩和による完成車輸入解禁による増加や、カンボジアで昨年度から立ち上がったノックダウン生産に伴う好調は、継続すると見ている。プラス要因もマイナス要因もある、現時点では見通し通りと考える。西アフリカは選挙前需要など一過性要因もありながらも好調が継続すると見ている。第 1 四半期の主要因は高利益率車種の新車販売が増加したこと。

Q. 第 1 四半期ではサーキュラーエコノミー本部はリチウム事業の影響等により業績が弱い、通期見通しは。

A. リチウムは、EV 化が遅延している流れで市況が上がってこない状況。市況価格も足元 8,000 ドル/t 台で推移しており、回復には想定より時間がかかるとみている。足元の市況状況が続けば通期業績に影響する可能性がある。

Q. グリーンインフラ本部の機械関連ビジネスについて、主にどのような案件が増益に寄与しているのか。

A. 主に北米のバッテリー工場向けの機械設備納入。今後の設備需要によっては継続して利益貢献するビジネス。

Q. 新興国の配車状況は。

A. 足元では特段の懸念はない。昨年度は配車不足が目立っていたコーカサス地域については販売が不調であり、玉不足というよりも在庫の販売に注力する状況へと変化した。

Q. 「2028年3月期までに総還元性向40%達成」の方針は変化ないとのことだが、どのような条件が揃えば前倒しでの達成や、さらに上の水準を目指すのか。

A. 「ROE15%以上」が最も重視するKPIであり、まずはこの達成見込みがひとつの基準になる。また、中期経営計画の3年間で1.2兆円の成長投資を計画しており、その実現確度も重要となる。キャピタルアロケーションの中で余資が生まれる状況になれば、結果として前倒し達成の可能性もあると考える。

Q. 南アフリカの回復の背景は。持続性はあるのか。

A. 昨年まで景況悪化が続いていたが、インフレの抑制や失業率の低下など上向きの事象がいくつか見えた。今後の回復度合いや持続性は引き続き注視が必要と考える。

Q. デジタルソリューション本部のシステム関連の内容および半導体の状況は。

A. システム関連についてはOSの更新など、毎年一定のライセンスフィーが発生するビジネスが第1四半期に集中している。新規受注に加えて顧客企業の利用者が増えていることが増益に寄与している。車載半導体は生産台数が増えている一方で、第1四半期については顧客の在庫の荷動きが少し鈍く、増益とはならなかったが、期末に向けて在庫を販売していく。車載以外の民生半導体については一部スポット案件も含まれるが安定的に推移している。

Q. 米国の関税による自動車OEMの仕向け先変更等によって競争が激化している地域はあるか。

A. 現状、大きくビハインドしている地域はない。

以上